



百万石の地で触れよう 未来につなぐ まちづくり

第58回建築士会全国大会石川大会 主管
一般社団法人 石川県建築士会 会長

照田繁隆



石川県は、百万石の歴史と文化を今に受け継ぎ、数々の伝統工芸、伝統芸能や生活文化を守り育ててきました。その多くは、単に旧来の伝統を継承するだけでなく、常に時代の要求を取り入れ、進化しつつ引き継がれています。

建築の歴史においても例外ではありません。本県には全国最多となる8カ所の重要伝統的建造物群保存地区が存在し、多くの歴史的建築物を大切に保存・活用する一方で、現代に至るまでそれぞれの時代においても、新たにその時々の名建築と評されるものが数多く生まれ現在に至っています。

金沢をはじめ県内各地は数多くの「歴史的建築物」と「現代建築」が共存・調和し、百万石の歴史を引き継ぐ品格ある落ち着いたまちとして知られ、建築とまちなみを楽しむために多くの方々にお越しいただいています。

私たちは、過去の歴史的建築物を文化遺産として保存・継承するだけでなく、現在の建築活動においても、地域の建築文化に調和した質の高い建築物を供給することが建築士の使命であると考えています。

石川の地に集われる全国の建築士の皆様にこのまちをご覧いただき、「過去から未来につなぐまちづくり」ということについて共感し味わっていただきたいと思っています。



2015年3月14日に開通した東京～金沢間の北陸新幹線

建築士会全国大会を石川県で開催したのは1965(昭和40)年9月16日。その時から50年が経過。今年は3月14日に東京～金沢間の北陸新幹線が開通しました。新旧の歴史あるまちなみが全国の皆様をお待ちしています。

駅を起点とする「金沢のまちなみ建学」をはじめ、金沢駅の商業施設「一番街」、飲食・土産物店「あんと」、武蔵が辻「近江町市場」、「片町飲食店街」など金沢での全国大会をお楽しみください。